

令和元年11月29日  
和歌山大学

「平成33年度（2021年度）和歌山大学入学者選抜の見直しに係る予告」及び  
「令和3年度和歌山大学入学者選抜における英語資格・検定試験の活用方法について（教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部）」に係る記述部分の実施延期について

令和元年11月1日、萩生田光一文部科学大臣の記者会見における発言により、大学入学者選抜における英語資格・検定試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入延期を受けて、既に公表しております下記の英語資格・検定試験に係る記述部分について、令和3年度入学者選抜においては実施いたしません。

1. 平成30年10月22日公表の「平成33年度（2021年度）和歌山大学入学者選抜の見直しに係る予告」
2. 令和元年7月9日公表、令和元年9月9日追記公表の「令和3年度和歌山大学入学者選抜における英語資格・検定試験の活用方法について（教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部）」

#### 令和3年度和歌山大学入学者選抜における英語民間試験の活用について

「大学入試英語成績提供システム」の導入延期に伴う変更とは別に、すべての英語民間試験の活用についてお知らせします。令和3年度入学者選抜においては、観光学部 総合型選抜に限り、英語民間試験を利用します。詳細は、募集要項で公表します。

令和元年7月9日  
令和元年9月9日追記  
和歌山大学

## 令和3年度和歌山大学入学者選抜における英語資格・検定試験の活用方法について（教育学部、経済学部、システム工学部、観光学部）

### 1. 対象となる選抜区分

- ▶ 「一般選抜」
- ▶ 大学入学共通テストを課す「学校推薦型選抜」

### 2. 活用方法

- 独立行政法人大学入試センターが運営する「大学入試英語成績提供システム」（以下「システム」という。）を利用し、システムに参加する資格・検定試験（以下「資格・検定試験」という。）を活用の対象とします。大学入試センターが大学に提供する、システムに登録された最大2回の成績のうち、提供されたCEFRの段階別成績表示による対照表に基づくレベルのいずれか高い方のレベルを採用します。（令和元年9月9日追記）
- CEFRの段階別成績表示による対照表に基づくレベルに応じ、本学が示す大学入学共通テスト外国語の「英語」の得点に加点し、各学部が定める配点に換算します。ただし、加点した合計点が、本学が示す大学入学共通テスト外国語の「英語」の得点の満点を超える場合は、満点として取扱い、各学部が定める配点に換算します。
- 教育学部、経済学部はA1以上、システム工学部、観光学部はA2以上に加点します。
- 出願資格とはしませんので、全ての志願者に英語資格・検定試験の受験を課すものではありません。
- 大学入学共通テスト外国語において、英語以外の外国語を受験した場合は、加点の対象とはなりません。
- 現時点検討段階の活用方法を示したものであり、細部は今後変更となる場合があります。活用方法詳細、本学が示す大学入学共通テスト外国語の「英語」の得点、各学部が定める配点等は令和3年度選抜要項において公表予定です。

平成30年10月22日公表抜粋

#### 1. 大学入学共通テスト

- (2) 英語認定試験（大学入試センター試験の認定を受けた英語の資格・認定試験）  
「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を適切に評価するため、大学入学共通テストの枠組みにおいて、英語認定試験を「一般選抜」の志願者に課すとともに、平成35年度（2023年度）までは、大学入学共通テストにおいて実施される英語試験を併せて課すこととし、それらの結果を入学者選抜に活用する。  
また、大学入学共通テストの枠組みにおいて、英語を課す「学校推薦型選抜」においても、「一般選抜」と同様の取扱いとする。